

経験を社内に残す

経験豊かな社員は、なぜ仕事が今のやり方で行われているのか、どの顧客に特別な配慮が必要か、前回何がうまくいかなかったかを知っています。そうした知識は、本人が退職したり会社を離れたりとすると、簡単に失われてしまいます。以下のステップは、その知識を社内に残し、本人が望めば働き続けられるよう支えるためのものです。

01 誰が何を知っているかを把握する

一人か二人の頭の中にしかない知識を書き出しましょう。

02 思い込まずに、尋ねる

経験豊かな社員に今後の計画を尋ね、本人が望む場合、働き続けるために何が助けになるかを聞きましょう。

03 人ではなく、仕事を合わせる

負担の軽い業務、柔軟な勤務時間、パートタイム勤務によって、働き続けることが可能になる場合があります。

04 若手とベテランを組ませる

若手社員が、実際の業務でベテランと並んで働けるようにしましょう。

05 大切なことを書き残す

重要な業務の進め方を、短いメモ、チェックリスト、写真で残しましょう。

06 異なる形の貢献を評価する

教える、問題を解決する、ミスを未然に防ぐなど、周りの人を伸ばす社員を正に評価しましょう。

07 引き継ぎは早めに計画する

誰かが退職する数週間前ではなく、数年前から始めましょう。

08 つながりを保つ

元社員が、顧問や指導役として力を貸してくれることも少なくありません。

企業も人もそれぞれに異なり、ここに示したのは指針にすぎません。長く働き続けるかどうかは、常に本人の自由な選択であるべきです。雇用に関する事項はベトナム労働法に照らして確認し、必要に応じて専門家の助言を得てください。お手伝いが必要な際は、どうぞお気軽にご連絡ください。